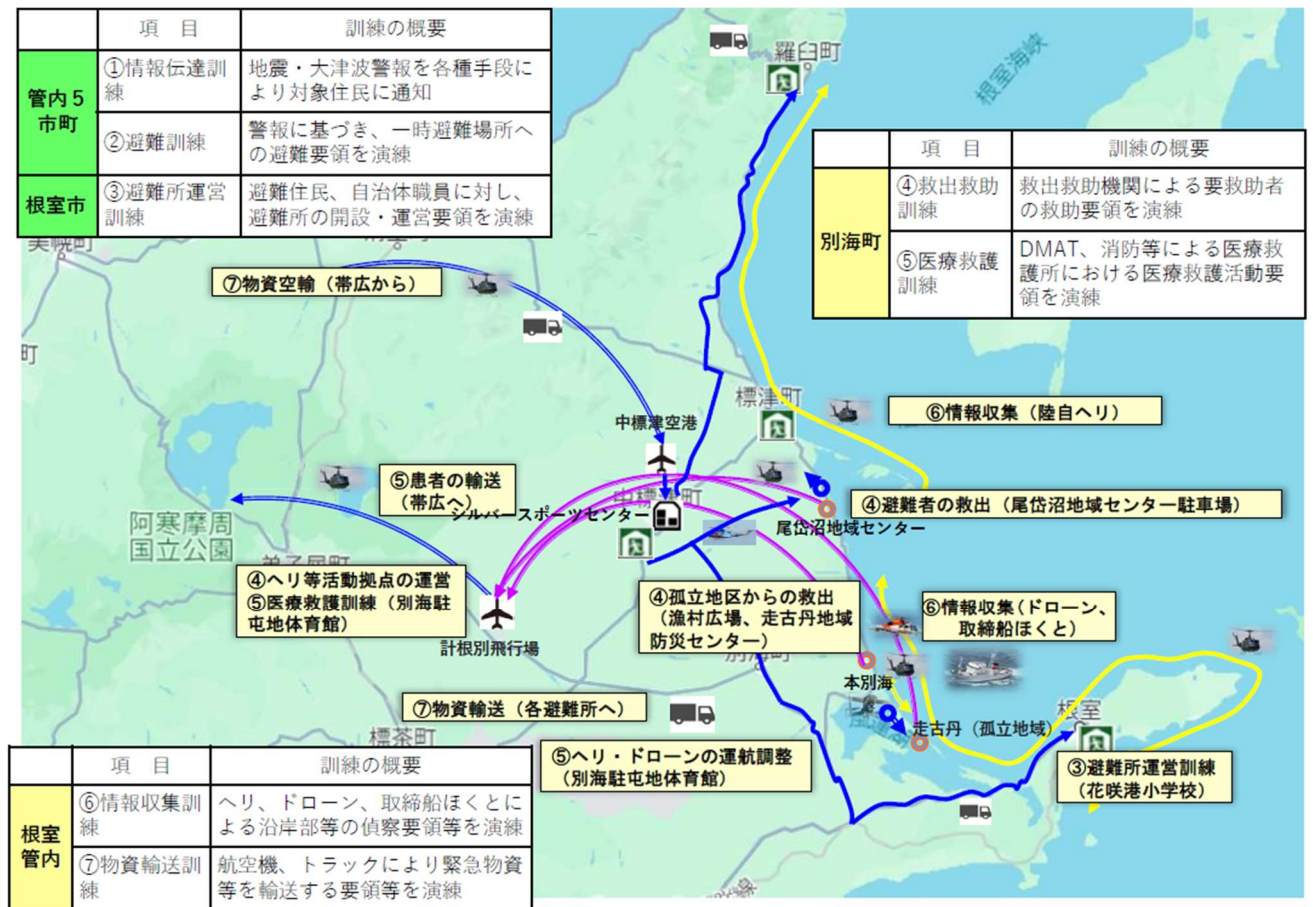


■ 北海道防災総合訓練（第2回）の実施

12月21（土）・22日（日）に根室振興局管内において、北海道防災総合訓練（第2回）を実施しました。

今回の訓練は、本年1月に発生した能登半島地震の教訓や、厳冬期を有する本道特有の特性も踏まえ、情報伝達訓練、住民避難訓練、避難所運営（宿泊含む）、情報収集訓練、物資輸送訓練、救出救助訓練と多岐にわたって実施し、関係機関の対応や連携の手順などを確認したほか、参加された住民の皆さんには、日頃の備えの必要性を改めて考えていただく機会にもなりました。

訓練結果の詳細については、後日、道のホームページに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。



■ 知活（ちいき）ゼミナール 2024「冬の災害から命を守る」YouTube 配信

2024年12月2日（月）～2025年2月28日（金）の期間で知活（ちいき）ゼミナール 2024「冬の災害から命を守る」をテーマにしたセミナーがYouTubeで配信されています。

札幌市立大学 看護学部 鬼塚講師からは、厳冬期の避難生活で想定される命に関わるリスクについて、建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部防災システムG 今井講師からは、冬季における地震・津波の防災対策について、それぞれ20分程度の動画で解説されます。是非ご覧ください。

テーマ 「冬の災害から命を守る」

札幌市立大学・道総研 共同セミナー

視聴 自由
申し込み 不要

YouTube 配信

2024年 12月2日（月）～ 2025年 2月28日（金）

配信 URL
札幌市立大学: <https://www.scu.ac.jp/cr/outline/openseminar/#chiki>
道総研: <https://www.hro.or.jp/hro/info-headquarters/event-info/event-221.html#241202>

札幌市立大学
<講座タイトル>
厳冬期の地震災害から命を守る！
私たちの避難生活で想定されるリスクと必要な備え
札幌市立大学 看護学部 講師 鬼塚 美玲

道総研
<講座タイトル>
巨大地震から命を守る地震・津波の防災対策
建築研究本部 北方建築総合研究所 地域研究部 防災システムG
研究職員 今井 崇嗣

詳細は裏面をご覧ください。

YouTube 配信

札幌市立大学と道総研が連携して、地域（ちいき）と一緒に知（ち）を活（い）かす共同セミナー「知活ゼミナール 2024」を開催します。

今回は、「冬の災害から命を守る」がテーマです。防災に関する2名の研究者が冬の北海道での災害のリスクや防災対策について動画で解説します。

札幌市立大学

厳冬期の地震災害から命を守る！

私たちの避難生活で想定されるリスクと必要な備え

厳冬期の地震災害への備えはできていますか？
2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震の際、「真冬じゃなく本当に良かった」と感じた方は多いのではないのでしょうか。北海道で厳冬期に地震災害が発生した場合、寒冷環境や雪環境による影響も加わり、私たちの避難生活は様々なリスクに晒されます。セミナーでは命に関わるリスクに焦点を当てて紹介します。

配信 URL: <https://www.scu.ac.jp/cr/outline/openseminar/#chiki>

道総研

巨大地震から命を守る地震・津波の防災対策

令和6年能登半島地震は、厳冬期である1月に発生しました。北海道においても、冬に大規模な地震・津波が発生した場合、積雪による建物被害の増加や避難の遅れ等による被害の拡大が懸念されます。セミナーでは、地震・津波災害に関する道総研の研究成果や、北海道内で実施した津波避難訓練のデータから、特に冬季における地震・津波の防災対策について解説します。

配信 URL: <https://www.hro.or.jp/hro/info-headquarters/event-info/event-221.html#241202>

お問い合わせ 札幌市立大学 地域連携課 TEL: 011-592-2346 E-mail: cr@scu.ac.jp
道総研 経営管理部企画・広報室 TEL: 011-747-2900 E-mail: hq-soudan@hro.or.jp



デザイン: 札幌市立大学 デザイン学部デザイン学科 4年 菊池 繪

■ NHK防災マガジン「実家の防災チェック」

年末年始に帰省されたら防災チェックや、災害時における身内の方との連絡手段など、改めて確認してみましょう。

チェックリストは以下のとおりです。

- 実家が寒い…18度以下は注意
- 家具の配置は大丈夫？
- 高齢の親の「非常時用持ち出し袋」
- 「火災警報器」を点検しよう
- 初詣に行く前に「避難所」へ
- ご近所さんと連絡先の交換を
- 災害用伝言ダイヤル「171」体験を

職場や生活で役立つ防災情報をお届けします

NHK防災マガジン

年末年始の帰省 実家の防災チェックを!

経度半島地震 は元日に発生しました。年末年始ということもあり、実家に帰省していた方も多かったのではないのでしょうか。年末年始は、**帰省先の防災チェック**や、災害時における身内の方との**連絡手段**などについて、改めて確認してみませんか。

実家が寒い…18度は危険なサイン

冬は寒いです。実家に帰ると「寒い!」と思ったことはありませんか?家中でも低体温症になるリスクがあります。福島県郡山地方広域消防組合の統計によると、2013年から2022年までの10年間に低体温症で病院に搬送された人のうち、約7割が自宅などの室内で発生していました。

家具の配置は大丈夫?

危険な配置になっていませんか?地震による家具の転倒を防ぐため、固定することも大切ですが、必ずしも万全ではありません。家具の下敷きになって親がけがをしないよう、家具の置き場所を見直すことも重要なポイントです。高齢の親だけでは置くか、動かせない家具があれば、帰省している間に移動させておく安心です。

簡単に点検できる「火災警報器」

もし家で火災が起きた時、大きな音で知らせてくれるのが「住宅用火災警報器」。

10年を目安に電池や本体の交換が必要です。全国すべての住宅での設置が義務づけられたのが2011年なので、気付かず交換の時期をわかっていないかもしれません。

その他

- 高齢の親の「非常時用持ち出し袋」
- 初詣に行く前「避難所」に寄り道を
- ご近所さんと連絡先を交換
- 災害用伝言ダイヤル・171の使い方

記事を読むにはこちらをクリック

あわせて読みたい

実はこれ!! 家の中の「低体温症」今すぐできる対策は?

低体温症は重症化すると命を落とす危険があります。対策は、室温を20度以上に保つこと、着るものを重ねる、湯を飲む、体を温めることです。

詳しく知りたい方はこちらをクリック

離れて暮らす親のために! 親子でチェック&トライ!

近年、災害で亡くなる高齢者の割合も増えてきました。離れて暮らす親の命を守るため、家族ができる防災として、防災グッズを揃えること、避難所などの際に親子でぜひ実践してほしいのが「災害先まで避難」です。

詳しく知りたい方はこちらをクリック

いつでも どこでも、NHKの番組を。

NHK+

総合・Eテレの番組を
スマホやタブレット・
パソコン・テレビで
放送から1週間 何度でも
お楽しみいただけます!

受信契約者の名前と住所を入力すればすぐに使えます。
受信契約がある世帯の方は、別途のお支払い・契約は必要ありません。

利用登録はこちらから 2次元コードをカメラで読み取ってください

- メールアドレス入力
- IDパスワード設定
- 氏名・住所入力

NHKは、みなさまと受信料で支えられています
受信料制度のご理解と、ご契約のお手続きをよろしくお願いたします

テレビに受信料額を記録されるみなさま

新規契約

単身赴任・学生のみなさま*

家族割引

お引越しをされるみなさま

住所変更

衛星放送を受信できるみなさま

衛星契約への変更

放送受信契約はスマートフォンでのお手続きが便利です

- 下記の2次元コードをカメラで読み取る
- ご契約内容やお支払い方法を選択
- お支払情報を入力しお手続きを完了

パソコンからの手続き
NHK受信料の窓口 まで
<https://www.nhk-cs.jp/jishinyou/>

お電話でのお手続き
0120-151515
受付時間: 午前9時～午後9時(年中無休)
050-3786-5003 (年中無休)

放送受信料に関するお問い合わせ
ホームページ「NHK受信料の窓口」
<https://www.nhk-cs.jp/jishinyou/>

NHKふれあいセンター 0570-077-077
*受付時間: 午前9時～午後9時(年中無休)